

# 中央ろうきん 友の会ニュース

第11回中央ろうきん友の会本部総会  
及び支部活動報告 他

【編集】 中央ろうきん友の会事務局

【発行人】 鈴木 政 雄

【発行】 2019年11月6日 No.12

## 第11回本部総会開催 全ての議案を承認!!

### 「台風15号・19号」による被災地に 「災害支援基金」より支援金を贈ります!



鈴木会長

第11回中央ろうきん友の会本部総会は2019年10月4日、東京都文京区湯島にある東京ガーデンパレスにおいて、代表役員全員の出席を得て開催され、全議案は出席代表役員の総意で承認されました。

総会は森田副会長の司会で開会し、議事に先立ち鈴木会長の挨拶があり、続いて来賓の中央労働金庫曾我営業統括部次長よりご挨拶をいただきました。

議事は、鈴木会長の議長のもと、高橋事務局長より、「2019年度年間スケジュール」、「災害支援基金収支報告ならびに協力先について」など4項目について報告が行われ、質疑の後、全員の拍手で承認されました。

その後、審議事項に入り、第1号議案「2018年度本部会計報告承認の件」は高橋事務局長、「同内部監査報告」は井上会計監査委員、「同外部監査報告」は植木事務局長補佐より行われ、全体の拍手で承認されました。

第2号議案「2019年度中央ろうきん友の会活動方針案」、第3号議案「2019年度中央ろうきん友の会予算案」は野田副会長より提案されました。活動方針では「支部会報コンクール」は継続して実施するが、「ホームページに係わる表彰制度」は2018年度を以て終了すること。予算案では地区を跨ぐイベント等の支援として広域活動支援費を新たに設けたことなどが説明され質疑の後、承認されました。

**会員拡大では推進機構との連携が重要など多くの意見が出されました!**

■ 出された主な意見

- ・ ホームページ表彰制度が終了となった。ホームページの閲覧は活動と密接な関係にあるが、終了理由に活動との関係が触れられていない。東京地区のアクセス数は減少しているが、支部の活動は活性化している。表彰制度は継続して欲しい。
- ・ 被災地支援で「わかめ・こんぶ」の斡旋は継続するとのことだが、「わかめ」の評判は良いのに早めに終わってしまうので、「わかめ」の取扱量を増やして欲しい。
- ・ 福祉事業の発展については、提携先の拡大が重要と考える。



古賀代表役員



野田副会長



井上会計監査委員



高橋事務局長



曾我営業統括部次長



河合代表委員

例えば神奈川地区で中華街の店と提携し、友の会会員であれば割引するとなれば利用が広がるのではないかと。食事や土産、施設利用などを提携先として紹介していけば会員にとって立派な福祉事業となる。

・神奈川では推進幹事会に取り組みや役員の推薦等要望している。星川支部では、友の会活動に推進幹事の派遣をお願いしていて、幹事会で今後検討されることになっていく。推進機構との連携が重要であることから友の会本部で全体の取り組みとして欲しい。

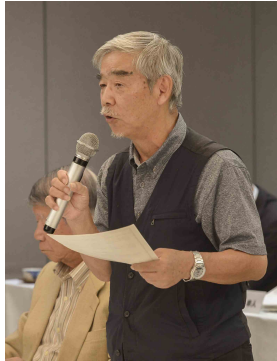
・友の会会員は高齢者が多いし、スマホの利用は人によってはハードルが高いかもしれないが、金庫の経費削減に繋がる施策があるのであれば、友の会に対して積極的に発信して欲しい。支店長も友の会役員会に商品の営業だけでなく、このようなことを労金は考えているので一緒にやっていこうとの提起をして欲しい。



斎藤会計監査委員



阿部本部委員



芹沢代表役員

・退職して23年間労金と関わり、各支店の友の会、推進幹事が喜ぶような活動をしてきたのに、最近は労金職員から感謝の言葉が減ってきている。労金のために頑張っている。ただいっているとの感謝の心を持つよう指導をお願いしたい。

・会員拡大は退職間近に友の会と接点を持ってもらい、友達もイベント等に誘ってもらって中では友の会の会員になってももらうことで会員拡大していくしかない。職域組織との関係・接点を持てるようお願いしたい。

第4号議案「2019年度地区本部・支部予算配賦案」は高橋事務局長より提案され、全体の拍手で承認されました。

・会員拡大は苦勞している。職域の組織にいる時に会員と難くないと一本釣りでの勧誘は難しい。そのためにも労金との交流、友の会のPR、労組現役員との交流は重要となる。店全体会議では友の会代表による報告などにより職域労組との接点を持たないと交流にも繋がらない。現役との取引だけでなく、現役との取引増強にも繋がると思う。

・千葉地区では全15支部が全体会議で友の会のPRや会員拡大の協力要請を行い、労組への訪問、その後個人への訪問による要請活動などを行っている。足を使って動かなければ会員拡大には繋がらないとの思いで取り組んでいる。

・茨城地区での会員拡大の施策として、22支部の会長に対し、支部の役員・幹事に女性を2〜3名選任するように指導している。女性会員の増加により男性会員も増加している。イベント等でも女性会員には女性の友達を2〜3人連れてきてもらうようお願いし、次の機会に参加者に会員になってもらっている。



伊藤代表役員

その他事項として、「令和元年台風15号災害」に係る被災地（千葉地区）に対する支援について、第25回本部役員会（総会の前段で開催）の確認事項が神林事務局長から報告され、合わせて千葉地区の被害状況について伊藤代表役員から報告があり、これを確認いたしました。

第5号議案「本部役員選出」は古賀本部役員選考委員より、本部役員選考委員会の答申が報告され、全体の拍手で承認されました。その後、8名の本部役員による互選が行われ、左記の役職が決まりました。

2019年度本部役員  
(敬称略)

会長	鈴木 政雄
副会長	森田 行男
副会長	古賀 紘一
事務局長	高橋 幹夫
会計監査委員	井上 良治
会計監査委員	齊藤 勝弘
委員	竹井 基
委員	小林 裕満



総会参加者の皆さん



竹井委員 井上会計監査委員 斎藤会計監査委員 小林委員  
古賀副会長 森田副会長 鈴木会長 高橋事務局長

## 友の会ニュース12号より

「支部の活動紹介コーナー」がスタートします！

(各号4支部を紹介していきます)

### 新たに「スポーツ吹き矢」愛好会を発足しました！

栃木地区本部 足利支部

サークル活動で会員交流と親睦を言うことで、愛好会活動を活発に実施しており、カラオケは原則毎週火曜日グループと土曜日グループの2班、ゴルフは年間4回のコンペ、書道および絵画は原則月1回開催と支店会議室での展示は発表会を年2回開催、囲碁・将棋は毎月1回開催、歩こう会は年2回開催しております。

今回は栃木地区本部より一式を借り、足利支部で一式を購入しました。支部会員から備品提供もありました。

スポーツ吹き矢協会の足利支部の公認資格者より「基本動作」の実技指導で、まずは「安全第一」を基本にと、それに「健康増進」の複式呼吸の指導を実施していただきます。毎月1回の練習日を決めて、活動を平成30年12月より始めました。

友の会足利支部  
会長 荒木 裕



2018/11/09



2018/11/09

## 魅力ある友の会活動を目指して

埼玉県地区本部 大宮支部

埼玉県南部に位置し、人口130万人を有するさいたま市の中心に存在する大宮は鉄道の街として発展し、東北・上越新幹線の玄関口でさいたま新都心構想により大きく変貌しています。

大宮支部は正会員690名で構成、13人の役員体制で各サークル数名の世話人を擁して運営。ランドゴルフは厳寒猛暑の時期を外し毎月開催、カラオケ交流は年3回、バスハイクは年2回、その他ウォーキングなどイベント・サークル活動を積極的に取り組んでいます。

今年最初の取り組みは、県を代表する氷川神社の初詣を兼ねた鉄道博物館見学の初ウォークです。2月21日梅の花が満開の暖かい陽射しを受け25名の参加者は神社の



賽銭の何倍もの願を済まし、鉄道博物館までのウォークに汗を流しました。3月からは月例グラウンドゴルフ大会の再開。

5月にはバス2台で牛久大仏とヤクルト工場見学会。6月はもんじゃ焼き・佃島巡りウォーキングとカラオケ懇親会。7月はゴルフ大会と様々な会員相互の親睦交流が図れる場所を工夫して取り組んでいます。

これからの行事は年2回発行の友の会便りで全会員に情報発信をしています。

友の会大宮支部  
事務局長 日比谷 三郎



## 友の会本部からのお知らせ！

「台風15号・19号」

被災地に災害支援基金より  
支援金を贈呈します！

「台風15号・19号」で被災された皆さま、関係者の皆さま、心よりお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方々のご冥福、および、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

本部役員会は（10月4日開催）台風15号で甚大な被害を受けた千葉地区内の支部に対して被災地区の会員が一日も早く元気になるよう「災害支援基金」より支援金（総額75万円）を支出することを決めました。なお、支部別の配分額は千葉地区本部に一人任することになりました。

また、その後の台風19号では河川の氾濫により大きな被害が発生いたしました。本部三役会議では、19号で被災された地区の支部に対しても支援する方向で「東京災害ボランティアネットワーク」等を通じて被災地情報の収集を進め、次回三役会議（11月26日）で対応を確定させることとしておりますことを会員の皆さまにご報告いたします。

# 支部の活動紹介コーナー

私たちの組織は「ろうきん」桐生支店の一会員と捉え、自立した組織運営を行うことを基本とした活動を行っています。

群馬地区本部 桐生支部

## 一、組織体制

会長 副会長2名  
事務局長 事務局次長  
会計監査2名

## 二、役員会の頻度

幹事10名 計17名  
(毎月第1月曜定例化)

## 三、活動報告・活動予定の会員への周知

- (1) 友の会だよりの発行 年1回(毎年7月)
- (2) ホームページの活用
- (3) 各愛好会活動日に周知

## 四、定例行事活動(支部主催)

- (1) グラウンド・ゴルフ 支部大会
- (2) 忘年会
- (3) スポーツ吹き矢 支部大会
- (4) 支店との意見交換会 (毎年4月)
- (5) 日帰りバスツアー
- (6) 尾瀬戸倉山菜狩り・グラウンド・ゴルフ スポーツ吹き矢大会 (1泊2日)
- (7) 各愛好会活動 (自主的に案内を作成し、独自に活動を行っています。)

## 五、各愛好会活動

- グラウンド・ゴルフ (毎週月・水・金曜)
- 囲碁・将棋 (第2・第4月曜)
- 大正琴 (毎週火曜)
- カラオケ (毎週水曜)
- 民謡 (第1・第3金曜)
- スポーツ吹き矢 (第2・第4金曜・第3月曜)
- ハイキング(年1回〜2回)
- ゴルフ (年4回〜5回)

友の会桐生支部

会長 藤本 嘉代



第10回総会(132名参加)

# 絆を深める活動を盛りだくさんに展開中!

茨城地区本部 日立支部

正会員2,179名、利用会員3,713名、役員13名で構成されている日立支部は、年間9種の支部行事を実施、年3回の地区本部行事・年1回の日立市内4支部行事に参加し、活動を進めております  
(スポーツ吹き矢は月2回実施)。更に毎月役員会を開催し、会員の皆様がスムーズに行事へ参加活動出来る様、詳細に検討を重ねております。

これらの行事の中から今回は「カラオケ芸能発表会」をご紹介します。歌い手・大正琴・踊り・ハーモニカの総勢50名の出演者で開催し、素晴らしいステージと音響効果のバックアップを受け、華やかな衣装を身に纏い、日頃鍛えた練習の成果を存分に発揮し、全員で「ふるさと」を合唱し閉会としました。

最後に、日立支部はここ数年「友の会ホームページ」に力を注いでおり、支部・地区本部・日立4支部の全ての活動をホームページに登録しております。活動内容を知って頂くことが最良のPRとなり、今後更なる発展に繋がると信じております。

友の会日立支部

事務局長 佐々木 孝作



## ご注意ください!

最近、金融庁等を名乗り、暗証番号を聞き出して、キャッシュカードや現金を騙し取ろうとする詐欺が確認されていますので、ご注意ください。

そのような電話などがあった時は—

- 訪問者にはキャッシュカードや現金、暗証番号を渡してはいけません。
- 不審な電話があった場合はいったん電話を切り、必ず家族や警察に電話して確認してください。